

業務棚卸しシート

Notion導入の可否は、ツールの比較ではなく業務の棚卸しから決まります。いま情報がどこにあり、誰が何分使っているかを埋めると、どの業務に着手すべきかが金額で見えます。無料診断でもこのシートを使います。

この資料の数字について

掲載している金額・時間はすべて、前提条件を置いた**試算**です。導入実績にもとづく数値でも、特定企業の事例でもありません。金額換算の前提は「人件費 時給2,500円、稼働20日 / 月」で、この前提が自社と違う場合、結果は大きく変わります。

このシートは自社の実測値を書き込むためのものです。実測が難しい場合は、担当者の実感値で構いません。ただし、その数字が試算の前提になることを明示したうえで使ってください。

STEP 1 | いま使っているツールと費用

請求書に出ている費用だけを書きます。人件費はSTEP 2で扱います。

ツール名	用途	利用人数	月額（円）	うち閲覧だけの人
合計				

「うち閲覧だけの人」は、ライセンス費を実際に減らせる可能性がある人数です。ここが多いほど、支出そのものが減る余地があります。

STEP 2 | 情報を探している時間

時間の金額換算は「時間 × 2,500円」です。1日あたりの分数を月に直すときは、稼働20日で計算します。

業務	誰が	人数	1人1日あたり（分）	月の合計時間	金額換算（円/月）
ナレッジ管理（あれどこだっけ）					
マニュアル・手順の確認					
FAQ・問い合わせ対応					
案件の経緯を調べ直す					
日報を書く・集計する					

計算式：人数 × 1日あたりの分 ÷ 60 × 20日 = 月の合計時間。月の合計時間 × 2,500円 = 金額換算。

STEP 3 | 同じ情報を二重に持っている場所

同じ内容が2か所以上にある状態を書き出します。転記と突き合わせに時間がかかっているところが、削減の候補です。

情報の種類	置き場所A	置き場所B	どちらが正なのか決まっているか

STEP 4 | 着手する業務を1つだけ決める

全部同時に着手すると移行工数が膨らみ、回収期間が伸びます。金額が最大の業務ではなく、最も小さく始められる業務を選んでください。

項目	記入欄
最初に着手する業務	
その業務を選んだ理由	
Notionに移すもの	
いまのツールに残すもの	
1ヶ月後に何が変わっていれば成功か	
測り方（何を数えるか）	

書き終えたあと

STEP 1～3 の数字を saiquestion.com/notion-roi/simulator/

のROIシミュレーターに入れると、ライセンス費・構築費を差し引いた投資回収期間が出ます。シートの内容をそのまま saiquestion.com/notion-roi/diagnosis/ の無料診断に持ち込んでいただいても構いません。